

2017年8月17日

シンガポール都市型農業プロジェクト ビル屋上での本格実証試験を開始

住友化学は、シンガポール農食品獣医庁（以下、「AVA」）と共同で取り組んでいる都市型農業モデルの開発プロジェクトで、8月から、AVAの研究施設のビル屋上での本格的な栽培実証試験を開始いたします。

本プロジェクトでは、限られた国土で食料供給力を向上させるため都市型農業を推進しているAVAと、農業関連事業をグローバルに展開する住友化学が共同で、日本の技術をベースにした、都市部のビル屋上での農業モデルの開発を進めています。2015年からまずは地上の農業用ハウスで栽培試験を始め、熱帯気候であるシンガポールで、日本で実績のあるカネコ種苗株式会社の養液栽培システムを検証し、良好な結果を得られました。今後はビル屋上に新設した農業用ハウス内での実証試験に移行し、生産性や品質の向上に取り組みます。また、これまで試験を行ってきた地上のハウスでは、葉物野菜を中心に栽培試験を続け、品目の拡大を目指します。

引き続きシンガポール国家開発省ならびに経済開発庁からの支援を受けながら、住友化学がプロジェクト全体を統括し、住友化学アジアが現地運営を担います。また、日本のカネコ種苗株式会社ならびにシンガポールのAVAおよび高等教育機関のニース・ポリテクニクの協力を得てプロジェクトを進めていきます。

住友化学は、今後、流通システムなどの調査も進め、2018年をめどに、持続可能な都市型農業モデルを確立し、将来的にアジアを中心にグローバルに展開していく考えです。



<栽培施設の概要>

立 地：シンガポール農食品獣医庁ポストハーベストテクノロジーセンター屋上

ハウス面積：265平方メートル

設 備 内 容：農業用ハウス、養液栽培プラント（栽培制御機器、栽培ベッド5列等）

<役割分担>

住友化学	: 全体統括
住友化学アジア	: シンガポール現地でのプロジェクト運営、栽培試験
カネコ種苗	: 養液栽培プラントの設置、栽培技術支援、種子提供
シンガポール農食品獣医庁	: 栽培試験、用地提供
ニーアン・ポリテクニク	: 栽培試験における技術支援

<各社・組織の概要>

・住友化学株式会社

本社所在地：東京都中央区

社長：十倉雅和

事業内容：石油化学、エネルギー・機能材料、情報電子化学、健康・農業関連事業、医薬品、その他

・住友化学アジア

本社所在地：シンガポール

社長：高沢聡（住友化学 常務執行役員）

事業内容：石油化学製品等の製造・販売、市場調査・情報収集、東南アジア・インド・オセアニア地域における住友化学グループの地域統括会社

・カネコ種苗株式会社

本社所在地：群馬県前橋市

社長：金子昌彦

事業内容：農産種苗、園芸資材、造園、温室・農業用生産資材、農業薬品、養液栽培システム、施設園芸諸機材、農業土木工事

・シンガポール農食品獣医庁

食糧供給、食品安全などを担当し、国内農業の生産性向上を支援している政府機関

・ニーアン・ポリテクニク

1963年に設立された、生命科学・化学工学などの9学部49学科を持つ高等教育機関

・シンガポール国家開発省

都市計画や社会基盤整備等長期的視野に立ち、シンガポールのハード面の開発を担当する政府機関

・シンガポール経済開発庁

シンガポールのグローバル・ビジネス拠点としての地位を強化する戦略を計画・実施する政府機関

以上



住友化学株式会社

<http://www.sumitomo-chem.co.jp>

コーポレートコミュニケーション部

〒104-8260 東京都中央区新川2-27-1 東京住友ツインビル（東館）

TEL: 03-5543-5102 FAX: 03-5543-5901